

自動認識の世界をより身近に **Flags**

vol.139 2016
12月号

『図書管理で広がる UHFソリューション』

図書館関連では国内最大イベントとなる「第18回 図書館総合展」と「教育・学術情報オープンサミット」が、11月8日(火)～10日(木)の3日間でパシフィコ横浜にて、今年も盛大に開催されました。最近の図書館での業務効率化とサービス向上が求められる中、UHF帯 RFID製品の活用が目立っています。

当社も同展示会に製品群を出展いたしましたので、UHF帯 RFIDの最新の技術動向を中心に、図書館総合展の開催レポートをご紹介します。



今年の図書館総合展

自動認識技術の話題から、少し外れますが、今年の図書館総合展では「地域創生」を図書館で発信して、推進するセッションが多く見受けられました。

現在、図書館の設置率は市や区ではほぼ100%ですが、町では750町のうち451町で設置率60.1%、村になると184村のうち46村での設置率25%だそうです。

図書館の設置は、まちづくり、教育や文化全般にも寄与することが評価されているため、今年は「公共施設複合化フェア」が併催され、図書館を超えた公共施設全体の企画に携わる関係者に対しても有効な情報が提供できた展示会となりました。

桶川市立図書館では、駅前の商業施設内に大型書店と隣接して開館するなど、競合するのではなく新たな共合を試みる地域創生活動のセミナーは話題を集めておりました。

振り返ると6月に開催されたモダンホスピタルショーも「地域包括医療」が大きく取り上げられており、日本の将来に向けて“強い地方自治体づくり”の国策が、ようやく実際の市場に影響し始めたところと言えましょうか!?

図書館管理で活躍するUHF帯RFID

図書館の個体管理は、ナンバリングシール→バーコード→HF帯RFID→UHF帯RFIDと、時代とともに移り変わってきました。

図書館の運用の中でUHF帯RFIDはこんなところで活躍しています。

- ①自動貸出機(セルフレジ)によるサービス向上、運用コスト削減
- ②UHF帯ゲートによる不正防止、EASへの二重投資の解消



New!

iPhone/Android端末対応 UHF帯RFIDモバイルリーダライタ RFD8500

- iPhoneやAndroidスマートフォンとBluetoothで簡単接続。携帯電話網でのリアルタイム通信可能なモバイルRFIDハンディとして活躍。
- 圧倒的な読み取りスピード(600タグ/秒)を実現。
- バーコード・2次元コード対応モデルもご用意可能。
- 80か国以上で利用可能

- ③数十万冊の蔵書(在庫)点検の作業時間、負担を劇的に削減
- ④書籍のリアルタイム位置検知による貴重書籍のセキュリティ向上など、その一つ一つをみても大きな導入効果は、現場で認知されています。

UHF帯RFIDは、それらの業務を流用して使用できることがUHF帯ならではの大きなメリットでもあります。



<「OKEGAWA honプラス+(オケガワ ホンプラス)」。

写真中央の共有スペースに面して左手に書店、右手にカフェ、奥に桶川市立図書館があります>

未来を創造するUHFの活用提案

当社ブースでは、書籍用 IC タグのご提案から、自動貸出機、不正防止用 IC ゲート、蔵書点検用一括読取りシステムなど、図書管理における『効率化』、『省力化』、『顧客サービス』、『現状の見える化』の実現に必要なトータルソリューションのご提供をテーマに致しました。

今年のメインは、次世代のご提案として、話題の【ドローン】を活用し、UHF 帯リーダと組み合わせた「無人蔵書点検システム」をご紹介させて頂きました。



無人蔵書点検システムは、UHF 帯リーダを搭載したドローン自体に、予め図書館のレイアウトをプログラミングしておきます。

図書館の職員が帰宅した後、ドローンが図書館のレイアウトに沿って、自動的に全ての書棚の上から下まで、無人で回遊してくれるのです。

ドローンによる図書館内の回遊が終わると、搭載されている UHF 帯リーダの中に、全ての蔵書状況のデータが蓄積できていると言う仕組みです。

まだ、僅かの課題が残っていますが、もうすぐ実現できるテクノロジーです。

RFIDトータルソリューションのご提供

UHF 帯 RFID のメリットを紹介してきましたが、実際に導入するためには、管理する媒体の全てに UHF 帯タグを取り付けなければなりません。図書館であれば書籍一冊一冊が媒体になります。

当社では運用提案だけでなく、UHF 帯タグの選定から始まり、書籍バーコードから UHF 帯タグへのデータ・リメイク、会員カードの作成に至るまでトータルで提案できる体制をご用意しております。

図書館の書籍管理に限らず、UHF 帯 RFID の運用にご興味ございましたらぜひ、お気軽に当社営業担当まで、お声がけ下さい。

お客様の運用規模やご予算にあったご提案をさせていただきます。

MTSが提案する 図書館向けUHF帯ICタグシステム



UHF帯RFIDを利用した
自動貸出／蔵書点検／
BDSのご紹介はこちらから

めざせ、自動認識基本技術者! Lesson 8

「可逆圧縮」と「非可逆圧縮」

二次元コードはバーコードと比べて数十倍ものデータが表現できることは説明しましたが、あまり知られていませんが、データを一旦圧縮している事が大きな理由なんです。



圧縮方法には大きく「可逆圧縮」と「非可逆圧縮」の2種類あって、圧縮した情報を寸分違わず元のデータに復元するのが可逆圧縮です。えっ?元のデータに戻せない圧縮方法なんて使い物にならないのでは?と思ったかもしれませんが、写真や音楽、動画などは殆どが元に戻せないデータなんです。人間の五感に作用する情報は完全なデータに戻せなくても人間が判別することが出来ないため、データの圧縮効率を優先した非可逆圧縮が採用されています。二次元コードは絶対に誤読してはならないので「可逆圧縮」が採用されています。

次号予告

2017年 1月号は・・・

『2017年新年号「今年のロードマップ」』

についてです。

Flags 1月号は 1月 10日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2016年12月号 Vol.139 2016年12月7日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556
名古屋営業所	Tel:052(218)7661	Fax:052(218)2607
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
X線営業部	Tel:042(484)6155	Fax:042(489)9241